

その不調、もしかしたらお口の環境に原因が

体の様々な不調の原因に歯が関係している、とは想像もつかないかもしれませんが、次のようなことが体の不調の原因になることがあります。

かみ合わせ・歯並びの影響で

かみ合わせのずれが原因で顎の関節や筋肉に負担がかかり、それが頭痛や肩こり、首の痛みなどを引き起こすことがあります。



歯ぎしりが原因で

歯ぎしりは、歯の痛みや知覚過敏の原因になるだけでなく、顎関節、顎の筋肉に負担がかかることで、頭痛や肩こりの原因になったりすることがあります。



歯科金属が原因で

詰め物や被せ物に使われている金属が唾液中にイオンとなって溶け出し、血中に入り込んでたんぱく質と結合し、アレルギーの原因となり、湿疹などのような体の皮膚疾患を起こすことがあります。



アレルギー!?



最近調子悪いのよね...

口の中の感染が原因で

歯の根っこが細菌に感染し、膿だまりができてしまうと、それが原因で手の平や足の裏にたくさんの膿の袋を作ることがあります。歯の周囲組織の病気である歯周病もこのような症状を起こすことがあることが指摘されています。



被せ物や詰め物の耐久性が大事な理由

お口の中は、食べ物を噛み砕いたり、食事のたびに酸性になったりと、とても過酷な環境なので被せ物や詰め物も少しずつ劣化します。劣化した状態を放置すると、かみ合わせが悪くなったり、再度むし歯になったりして、お口の中に様々な影響がでてしまうので作り替えが必要になります。しかし、作り替えるときは歯を削るので、歯の寿命を短くしてしまいます。そのため、被せ物や詰め物には丈夫で劣化しにくいといった耐久性が大事なのです。



食べ物を噛み砕く負担



食事のたびに起こる酸化



歯ぎしり、くいしばりの負担



セラミックやジルコニアといった素材は、劣化や変色がほとんど無く耐久性にすぐれているので、被せ物などの素材に適しています。

